

【参考】 【自立活動シート】

1 実態把握

子どもの生活や学習において、本人の得意なことや頑張っていること、苦戦していることや困っていることを書いてみましょう。
*苦戦していること、困っていることの中で優先順位が高いものに◎をつけてみましょう。

| 子どもの姿 | |
|---|--|
| 本人の得意なこと、頑張っていること、好きなこと | 本人の苦手なこと、困っていること |
| <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いをもち、相手に伝えようとする。 好きなことは、読書やブロック遊び。それに没頭できる。 一人の時間をとることで、気持ちが落ち着くことをわかっており、自分で調整しようとする。 友だちと一緒に遊びたい気持ちを持ち、関わろうとする。・・・ 自己肯定感が高く、興味のあることに意欲的に取り組んだり創意工夫をしたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎自分の思い（やりたいこと・ルールなど）を通そうとして、友達とトラブルになったり、非難されたりすることが多い。 ◎人と合わせたり、集団での活動に参加したりするのが苦手である。 思いが通らなかつたり、急な変更があつたりすると、カッとなつてたいたり、飛び出したりする。 ◎人にぶつかる、足を踏むなどからトラブルになる。 筆圧が強く、字を書くとき疲れやすい。 |

子どもと話をしてみ、関わってみ、遊んでみて…
・興味・関心を持っていること
・生き生きと取り組む活動
・その子らしさ、良さ
などを書きます。

・子どもが困っていることを書き出します。
・保護者やかかわりのある教職員が気付いている子どものことも参考になります。

◎がついた子どもの姿について、要因や背景をさぐってみましょう。
*「自立活動の6区分27項目」に即して整理してみましょう。

| 健康の保持 | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
|-------|---|--|---|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを受けとめてもらえないと、感情を抑えにくい。 これからの予定が分かると、安心して取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> 相手の気持ちや状況をとらえにくい。 状況に応じて友だちとかかわることが苦手である。 | <ul style="list-style-type: none"> 周囲の情報を、視覚や聴覚など様々な感覚を使って把握するのが苦手である。 | <ul style="list-style-type: none"> 体に不器用さがある。 支持力 ボディイメージ 調整力など | <ul style="list-style-type: none"> 場の状況や友達の様子をとらえにくい。 自分の気持ちや思いを、言葉でうまく相手に伝えることが苦手である。 |

・要因や背景となっていることは、一つの区分しか関連していないということはありません。
・すべての区分について記入するのではなく、子どもにとって必要な区分を選択して書きます。

2 指導目標の設定

「実態把握」をもとに、優先する目標を1つ選び、長期の目標（1年後）を書いてみましょう。
*現在の子どもの姿から1年後に「目指す姿」を設定してみましょう。

| | |
|------|--|
| めざす姿 | <p>【長期（例：1年間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちと声を合わせて歌ったり、音読したり、簡単なゲームを楽しんだりする。 友だちのしたいことを聞いたり、話し合っ決めてたりする。 |
|------|--|

・将来、こころ豊かに生活していくことをめざして、子どもや保護者の願いに沿うものを書きます。
・子どもが困っていたことが少しでも改善・克服され、持っている力が発揮されている姿を考えてみます。
・長期目標は、1年間程度の期間で達成できることを目標にします。

3 指導項目の選定

指導目標を達成するために必要な項目を、選んでみましょう。（チェックする）

| | 1 健康の保持 | 2 心理的な安定 | 3 人間関係の形成 | 4 環境の把握 | 5 身体の動き | 6 コミュニケーション |
|---------|--|--|---|---|--|---|
| 選定された項目 | <input type="checkbox"/> (1)生活リズムや生活習慣の形成に関する事 | <input checked="" type="checkbox"/> (1)情緒の安定に関する事 | <input checked="" type="checkbox"/> (1)他者とのかかわりの基礎に関する事 | <input type="checkbox"/> (1)保有する感覚の活用に関する事 | <input type="checkbox"/> (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事 | <input type="checkbox"/> (1)コミュニケーションの基礎的能力に関する事 |
| | <input type="checkbox"/> (2)病気の状態の理解と生活管理に関する事 | <input checked="" type="checkbox"/> (2)状況の理解と変化への対応に関する事 | <input checked="" type="checkbox"/> (2)他者の意図や感情の理解に関する事 | <input type="checkbox"/> (2)感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事 | <input type="checkbox"/> (2)姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事 | <input type="checkbox"/> (2)言語の受容と表出に関する事 |
| | <input type="checkbox"/> (3)身体各部の状態の理解と養護に関する事 | <input type="checkbox"/> (3)障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事 | <input checked="" type="checkbox"/> (3)自己の理解と行動の調整に関する事 | <input type="checkbox"/> (3)感覚の補助及び代行手段の活用に関する事 | <input type="checkbox"/> (3)日常生活に必要な基本動作に関する事 | <input type="checkbox"/> (3)言語の形成と活用に関する事 |
| | <input type="checkbox"/> (4)障がいの特性の理解と生活環境の調整に関する事 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> (4)集団への参加の基礎に関する事 | <input checked="" type="checkbox"/> (4)感覚統合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事 | <input type="checkbox"/> (4)身体の移動能力に関する事 | <input type="checkbox"/> (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事 |
| | <input type="checkbox"/> (5)健康状態の維持・改善に関する事 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> (5)認知や行動の手がかりとなる概念の形成に関する事 | <input checked="" type="checkbox"/> (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事 | <input checked="" type="checkbox"/> (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事 |

4 具体的な指導内容の設定

指導目標を達成するために、「選定された項目」を関連づけて、具体的な指導内容を1～3つにまとめてみましょう。

| | | | |
|----------|---|---|--|
| 具体的な指導内容 | <ul style="list-style-type: none"> 人と合わせることの楽しさを味わう。 担任との信頼関係づくり ・ブロック遊び リズムや息を合わせる ・窓ふき、歩く、数える、戦い遊び いろいろな音読を経験する | <ul style="list-style-type: none"> 小集団での活動の中で、友達の気持ちを聞いたり、ルールに沿って楽しんだりする。 気持ちが落ち着く方法を教員と相談する 見通しを持てるようにする ・同じパターンの繰り返し、視覚情報 相手の気持ちを、話し方を知る ・吹き出し等で考える | <ul style="list-style-type: none"> 運動を楽しみながら、支持力、ボディイメージ、調整力等を養う（サーキット、ヨガ） ・教材・教具の工夫 |
| 指導場面 | <ul style="list-style-type: none"> 朝のひととき 休憩時間 掃除 各教科 | <ul style="list-style-type: none"> 自立活動の時間 各教科 給食 | |

・選定した項目を関連付け、ひとり一人の子どもにとって具体的な指導内容を設定します。

・子どもを主体として書きます。
・本人の得意なことをさらに伸ばすことによって、苦手な側面を補い、成就感を味わうことができる内容を取り上げます。
・必要に応じて、周囲の人に支援を求めることができるような内容も計画的に取り上げます。
・自己を肯定的に捉えることができる指導内容を取り上げます。
・自己選択・自己決定する機会を設けることによって、思考・判断・表現する力を高めることができるような指導内容を設定します。

・自立活動は学校の教育活動全体を通じて行うことが基本です。
・指導場面の欄には、優先度の高いものを書きます。